

# 抗がん剤レジメン集 (乳腺)

薬剤-03

第 1.0 版

2023 年 1 月 25 日

八潮中央総合病院

薬剤部

## 目次

1. 進行再発 .....	2
1.1 AC 療法 .....	2
1.2 FEC 療法.....	2
1.3 3 週毎 T-mab+DTX 療法 .....	3
1.4 Weekly T-mab+PTX 療法.....	4
1.5 VNR+T-mab 療法 .....	5
1.6 Weekly T-mab 療法 .....	6
1.7 3wT-mab 療法.....	7
1.8 Weekly PTX 療法.....	8
1.9 DTX 单独療法 .....	9
1.10 VNR 单独療法.....	10
1.11 (LET or ANA or Ful)+PAL 療法.....	11
1.12 T-DM1 单独療法 .....	12
1.13 3wPER+T-mab+DTX 療法.....	13
1.14 3wPER+T-mab+HAL 療法.....	14
1.15 UFT+3wT-mab 療法.....	15
1.16 UFT 单独療法 .....	16
1.17 wPTX+Bmab 療法.....	17
1.18 Eribulin 单独療法.....	18
1.19 ATE+nabPTX 療法.....	19
1.20 EC 療法.....	20
2.術前術後化学療法.....	21
2.1 AC 療法 .....	21
2.2 FEC 療法.....	22
2.3 3 週毎 T-mab+DTX 療法 .....	23
2.4 3wT-mab 療法.....	24
2.5 Weekly PTX 療法.....	25
2.6 DTX 单独療法 .....	26
2.7 UFT+3wT-mab 療法.....	27
2.8 UFT 单独療法 .....	28
2.9 Eribulin 单独療法.....	29
2.10 EC 療法.....	30
2.11 Pembrolizumab+AC 療法.....	31

2.12	Pembrolizumab+CBDCA+PTX 療法.....	32
2.13	Pembrolizumab 单独療法.....	33
2.14	TC 療法 .....	34

# 1. 進行再発

## 1.1 AC療法

### 癌化学療法登録プロトコル

届出日：H18.7.14

診療科：外科	医師氏名：宇佐美 修悦						
【対象疾患】 乳癌	【プロトコル名（略称）】 AC療法						
【薬品名・用法・用量】 21日1サイクル、計4サイクル							
〇〇日目	投与時間	1	2	3	4	...	22
Rp:1 アプレピタントカプセル 125 mg	Rp3 開始 1時間前	○					○
Rp:2 デキサート注 9.9 mg アロキシ点滴静注	15分	○					○
Rp:3 アドリアシン 60mg/m <sup>2</sup> 生食 50mL	15分	○					○
Rp:4 エンドキサン 600mg/m <sup>2</sup> 生食 100mL	30分	○					○
Rp:5 生食 50mL	全開	○					○
Rp:6 アプレピタントカプセル 80 mg 内服			○	○			
Rp:7 デカドロン錠 4 mg 2錠2×	朝昼食後		○	○	○		
Rp:8 レバミピド錠 100 mg 3錠3×	毎食後		○	○	○		
【予定併用薬剤】 アロキシバッグ 0.75mg、デキサート 9.9 mg アプレピタントカプセル 125、80 mg、デカドロン 8 mg po							
【備考・注意等】 乳癌の術後補助化学療法のファーストラインとして。 化学療法未施行の再発乳がんのファーストラインとして。							
【出典・文献等】 臨床外科 59巻 9号 2004年9月 P1145～1150							

## 1.2 FEC 療法

### 癌化学療法登録プロトコル

届出日：H26.3.26

診療科：外科	医師氏名：宇佐美 修悦						
【対象疾患】 乳癌	【プロトコル名（略称）】 FEC療法						
【薬品名・用法・用量】 21日で1サイクル、計6サイクル							
〇〇日目	投与時間	1	2	3	4	…	22
Rp:1 アプレピタントカプセル 125 mg エピルピシンの投与1時間前に内服	Rp3開始 1時間前	○					○
Rp:2 デキサート注9.9mg アロキシ点滴静注バッグ0.75mg	15分	○					○
Rp:3 エピルピシン60mg～100 mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	15分	○					○
Rp:4 エンドキサン500mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液100mL	30分	○					○
Rp:5 5-FU 500 mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	15分	○					○
Rp:6 生食50mL	全開	○					○
Rp:7 アプレピタントカプセル80mg 内服	朝食後		○	○			
Rp:8 デカドロン錠 4 mg 2錠 2×	朝昼食後		○	○	○		
Rp:9 レバミピド錠 100 mg 3錠	毎食後						
【予定併用薬剤】 アロキシバッグ0.75mg、デキサート9.9mgdiv アプレピタントカプセル125、80mg、デカドロン8mgpo							
【備考・注意等】							
【出典・文献等】 乳がん診療ガイドライン①治療編2013年版							

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 3/34
---------------	---------	---------------	-----------

### 1.3 3週毎 T-mab+DTX 療法

#### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H22.11.17

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																																								
【対象疾患】 乳癌 術後補助化学療法 進行・再発乳癌	【レジメン名（略称）】 3週毎 T-mab+DTX																																								
【薬品名・用法・用量】 21日で1サイクル																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>…</th> <th>22</th> <th>…</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）</td> <td>投与開始前</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 デキサート注 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg</td> <td>15分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 ドセタキセル 60mg/kg 生食 250ml</td> <td>60分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2回目以降） 生食 250ml</td> <td>初回 90分 2回目以降 30分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:5 生食 50mL</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						〇〇日目	投与時間	1	…	22	…	Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始前	○				Rp:2 デキサート注 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○		Rp:3 ドセタキセル 60mg/kg 生食 250ml	60分	○		○		Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2回目以降） 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分	○		○		Rp:5 生食 50mL	全開	○		○	
〇〇日目	投与時間	1	…	22	…																																				
Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始前	○																																							
Rp:2 デキサート注 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○																																					
Rp:3 ドセタキセル 60mg/kg 生食 250ml	60分	○		○																																					
Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2回目以降） 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分	○		○																																					
Rp:5 生食 50mL	全開	○		○																																					
【予定併用薬剤】 グラニセトロン点滴静注バッグ3mg、デキサート注6.6mg、ポララミン注5mg 初回アセトアミノフェン2T内服																																									
【備考・注意等】																																									
【出典・文献等】																																									

## 1.4 Weekly T-mab+PTX 療法

### 癌化学療法登録プロトコル

届出日：H18.11.17

診療科：外科	医師氏名：宇佐美 修悦																																																															
【対象疾患】 HER2 過剰発現を伴う進行・再発乳癌	【プロトコル名（略称）】 Weekly T-mab+PTX 療法																																																															
【薬品名・用法・用量】 1 週毎に投与																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>…</th> <th>8</th> <th>…</th> <th>15</th> <th>…</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg (初回のみ)</td> <td>投与開始前</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 4mg/kg 2 回目以降 2mg/kg 生食 250ml</td> <td>初回 90 分 2 回目以降 30 分可</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生食 50ml</td> <td>プライミング &amp; フラッシュ (全開)</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:4 デキサート注 6.6 mg ファモチジン注 20 mg ポララミン 10 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:5 パクリタキセル 80mg/m<sup>2</sup> 生食 250ml div</td> <td>終了 30 分後 開始 60 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:6 生理食塩水 50ml</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	〇〇日目	投与時間	1	…	8	…	15	…	22	Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg (初回のみ)	投与開始前	○							Rp:2 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 4mg/kg 2 回目以降 2mg/kg 生食 250ml	初回 90 分 2 回目以降 30 分可	○		○		○			Rp:3 生食 50ml	プライミング & フラッシュ (全開)	○		○		○		○	Rp:4 デキサート注 6.6 mg ファモチジン注 20 mg ポララミン 10 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15 分	○		○		○		○	Rp:5 パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup> 生食 250ml div	終了 30 分後 開始 60 分	○		○		○		○	Rp:6 生理食塩水 50ml	全開	○		○		○		○	
〇〇日目	投与時間	1	…	8	…	15	…	22																																																								
Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg (初回のみ)	投与開始前	○																																																														
Rp:2 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 4mg/kg 2 回目以降 2mg/kg 生食 250ml	初回 90 分 2 回目以降 30 分可	○		○		○																																																										
Rp:3 生食 50ml	プライミング & フラッシュ (全開)	○		○		○		○																																																								
Rp:4 デキサート注 6.6 mg ファモチジン注 20 mg ポララミン 10 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15 分	○		○		○		○																																																								
Rp:5 パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup> 生食 250ml div	終了 30 分後 開始 60 分	○		○		○		○																																																								
Rp:6 生理食塩水 50ml	全開	○		○		○		○																																																								
【予定併用薬剤】 デキサメタゾン、グラニセトロン、ファモチジン、d-クロルフェニラミン、初回アセトアミノフェン 2T 内服																																																																
【備考・注意等】																																																																
【出典・文献等】 コンセンサス癌治療・乳癌 vol3 No1																																																																

## 1.5 VNR+T-mab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H19.5.12

診療科：外科	医師氏名：					
【対象疾患】 進行・再発乳癌	【レジメン名（略称）】 VNR+T-mab 療法					
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル						
〇〇日目	投与時間	1	…	8	…	22
Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始時	○				
Rp:2 ビノレルビン 25mg/m <sup>2</sup> 生食 50ml	5 分	○		○		○
Rp:3 生食 250ml	プライミング & フラッシュ (30 分)	○		○		○
Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2 回目以降） 生食 250ml	初回 90 分 2 回目以降 30 分	○				○
Rp:5 生食 50ml	全開	○				
【併用薬剤】 初回のみアセトアミノフェン 400 mg 内服						
【備考・注意等】						
【出典・文献等】 がん化学療法レジメンハンドブック改訂 6						



抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 6/34
---------------	---------	---------------	-----------

## 1.6 Weekly T-mab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H19.5.12

診療科：外科	医師氏名：後藤 伸之																												
【対象疾患】 転移・再発乳癌 HER-2（+）	【レジメン名（略称）】 Weekly T-mab																												
【薬品名・用法・用量】 7日で1サイクル																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）</td> <td>投与開始時</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 生食 100mL</td> <td>プライミング&amp; フラッシュ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg</td> <td>初回 90分 以降 30分まで 短縮可</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始時	○				Rp:2 生食 100mL	プライミング& フラッシュ	○		○		Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	初回 90分 以降 30分まで 短縮可	○		○	
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...																								
Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始時	○																											
Rp:2 生食 100mL	プライミング& フラッシュ	○		○																									
Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	初回 90分 以降 30分まで 短縮可	○		○																									
【予定併用薬剤】 初回のみアセトアミノフェン 400 mg内服																													
【備考・注意等】 施行前心エコー検査、infusion reaction																													
【出典・文献等】 J.Clin Oncol 2002.20.719-26 Efficacy and safety of trastuzumab as a single agent in first-line treatment of HER-2-overexpressing metastatic breast cancer.																													

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 7/34
---------------	---------	---------------	-----------

## 1.7 3wT-mab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H.29.1.23

診療科：外科	医師氏名：本間 惠																							
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 3wT-mab																							
【薬品名・用法・用量】 3週間ごとを1サイクル																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 アセトアミノフェン 400mg(初回のみ)</td> <td>投与開始時</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 生食 100mL</td> <td>プライミング &amp; フラッシュ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml</td> <td>初回 90分 2回目以降 30分 可</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					〇〇日目	投与時間	1	...	22	Rp:1 アセトアミノフェン 400mg(初回のみ)	投与開始時	○			Rp:2 生食 100mL	プライミング & フラッシュ				Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分 可	○		○
〇〇日目	投与時間	1	...	22																				
Rp:1 アセトアミノフェン 400mg(初回のみ)	投与開始時	○																						
Rp:2 生食 100mL	プライミング & フラッシュ																							
Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分 可	○		○																				
【予定併用薬剤】 初回のみアセトアミノフェン 400mg 事前に内服																								
【備考・注意等】 タキサン系との併用で開始、タキサン系が規定の adjuvant 量を終了した後、HER 単独で total 1年間(約 40回位)必要なため HER2 陽性乳癌で化学療法を忌避する場合、化学療法併用で病勢コントロールされメンテナンス目的に HER 単独で行う場合など																								
【出典・文献等】 乳癌診療ガイドライン①治療編																								

## 1.8 Weekly PTX 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H20.3.12

診療科：外科	医師氏名：後藤 伸之					
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 weekly PTX					
【薬品名・用法・用量】 7日で1サイクル						
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15
Rp:1 デキサート注 9.9 mg ファモチジン静注 20 mg ポララミン注 10 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○		○
Rp:2 パクリタキセル 80 mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液 500ml	Rp:1 終了 30分後に開始 初回 120分以降 60分	○		○		○
Rp:3 生理食塩水 50ml	全開	○		○		○
【併用薬剤】デキサメタゾン、ファモチジン、d-ケルフェニン、グラニセトロン						
【備考・注意等】						
【出典・文献等】 化学療法レジメンの処方例						

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 9/34
---------------	---------	---------------	-----------

## 1.9 DTX 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H19.5.12

診療科：外科	医師氏名：																								
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 DTX 単独療法																								
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル 術後化学療法の場合は全 6 コース 進行・再発の場合は PD まで																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>22</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 デキサート 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 ドセタキセル 60or75mg/m<sup>2</sup> 生食 500ml</td> <td>Rp:1 終了 30 分後に開始 60 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生食 50mL</td> <td>全開</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	...	22	...	Rp:1 デキサート 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg	15 分	○		○		Rp:2 ドセタキセル 60or75mg/m <sup>2</sup> 生食 500ml	Rp:1 終了 30 分後に開始 60 分	○		○		Rp:3 生食 50mL	全開				
〇〇日目	投与時間	1	...	22	...																				
Rp:1 デキサート 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg	15 分	○		○																					
Rp:2 ドセタキセル 60or75mg/m <sup>2</sup> 生食 500ml	Rp:1 終了 30 分後に開始 60 分	○		○																					
Rp:3 生食 50mL	全開																								
【併用薬剤】 デキサメタゾン、ファモチジン、ポララミン、グラニセトロン																									
【備考・注意等】 DTX は軽度催吐性リスクだが、グラニセトロン追加している																									
【出典・文献等】																									

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 10/34
---------------	---------	---------------	------------

## 1.10 VNR 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H29.1.23

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																																	
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 VNR																																	
<b>【薬品名・用法・用量】</b> 3週間ごとを1サイクル (状態により Day1 のみに変更も可)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>...</th> <th>15</th> <th>...</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 生食 250mL</td> <td>プライミング&amp; フラッシュ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 ロゼウス 25mg/m<sup>2</sup></td> <td>10分以内</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>								〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15	...	22	Rp:1 生食 250mL	プライミング& フラッシュ	○		○		○		○	Rp:2 ロゼウス 25mg/m <sup>2</sup>	10分以内	○		○				○
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15	...	22																										
Rp:1 生食 250mL	プライミング& フラッシュ	○		○		○		○																										
Rp:2 ロゼウス 25mg/m <sup>2</sup>	10分以内	○		○				○																										
【予定併用薬剤】																																		
<b>【備考・注意】</b> 転移性乳癌対象																																		
<b>【出典・文献等】</b> 乳癌診療ガイドライン①治療編																																		

### 1.11 (LET or ANA or Ful)+PAL 療法

#### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H30.5.22

診療科：外科	医師氏名：本間 恵							
【対象疾患】 閉経後再発進行ホルモン陽性乳癌	【レジメン名（略称）】 (LET or ANA or Ful)+PAL							
【薬品名・用法・用量】 レトロゾール 2.5mg/日 連日 or アナストロゾール 1mg/日 1日1回内服 連日 or フルベストラント 500mg を初回、2週後、4週後（初回から）、その後4週毎 i.m. パルボシクリブ 125mg/body/day 1日1回 3週投与1週休薬								
〇〇日目	投与時間	1	…	14	…	22	…	29
Rp:1 レトロゾール 2.5mg/日	1日1回内服	○	→					→
or アナストロゾール 1mg/日	1日1回内服	○	→					→
or フェソロデックス筋注 500mg i.m.	初回、2週後、4週後（初回から） その後4週毎	○		○				○
Rp:2 イブランス 125mg/body/day p.o.	1日1回内服	○	→					○
【予定併用薬剤】 なし								
【備考・注意等】 なし								
【出典・文献等】 乳癌治療ガイドライン①治療編 2018年版 PALOMA-2, PALOMA-3 試験								

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 12/34
---------------	---------	---------------	------------

## 1.12 T-DM1 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H19.5.12

診療科：外科	医師氏名：																												
【対象疾患】 HER2 陽性の進行・再発乳癌	【レジメン名（略称）】 T-DM1 単独療法																												
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>・・・</th> <th>22</th> <th>・・・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50ml</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 カドサイラ点滴静注 3.6mg/kg 生食 250ml</td> <td>初回 90 分 2 回目以降 30 分でも可</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生食 50ml</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						〇〇日目	投与時間	1	・・・	22	・・・	Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50ml	15 分	○		○		Rp:2 カドサイラ点滴静注 3.6mg/kg 生食 250ml	初回 90 分 2 回目以降 30 分でも可	○		○		Rp:3 生食 50ml	全開	○		○	
〇〇日目	投与時間	1	・・・	22	・・・																								
Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50ml	15 分	○		○																									
Rp:2 カドサイラ点滴静注 3.6mg/kg 生食 250ml	初回 90 分 2 回目以降 30 分でも可	○		○																									
Rp:3 生食 50ml	全開	○		○																									
【併用薬剤】 デキサート注 6.6																													
【備考・注意等】																													
【出典・文献等】 がん化学療法レジメンハンドブック改訂 6																													

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 13/34
---------------	---------	---------------	------------

### 1.13 3wPER+T-mab+DTX 療法

## 癌化学療法登録レジメン

届出日：H18.11.17

診療科：外科	医師氏名：本間 惠			
【対象疾患】 進行・再発乳癌	【レジメン名（略称）】 3wPER+T-mab+DTX			
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル、指示あるまで継続				
〇〇日目	投与時間	1	・・・	22
Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg(初回のみ)	投与開始時	○		
Rp:2 生食 100mL	プライミング& フラッシュ	○		○
Rp:3 パージェタ点滴静注 初回 840mg/kg ・ 2 回目以降 420mg/kg 生食 250m l	初回 60 分 2 回目以降 30 分	○		○
Rp:4 生食 50mL	初回 30 分 2 回目以降 5 分	○		○
Rp:5 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8 mg/kg ・ 2 回目以降 6 mg/kg+生食 250ml	初回 90 分 2 回目以降 30 分	○		○
Rp:6 デキサート注 6.6mg ファモチジン静注 20 mg ポララミン注 5 mg 生食 50mL	15 分	○		○
Rp:7 グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg	30 分	○		○
Rp:8 ドセタキセル 60or75 mg/m <sup>2</sup> 生食 250ml	60 分	○		○
【併用薬剤】 デキサート、ファモチジン、ポララミン、グラニセトロン、アセトアミノフェン、				
【備考・注意等】				
【出典・文献等】 がん化学療法レジメンハンドブック改訂 6				



### 1.14 3wPER+T-mab+HAL 療法

#### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H29.3.3

診療科：外科	医師氏名：本間 恵					
【対象疾患】 乳癌（進行・再発）	【レジメン名（略称）】 3 wPER+T-mab+HAL					
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル、指示あるまで継続						
〇〇日目	投与時間	1	・	8	・	22
Rp:1 アセトアミノフェン錠 400 mg(初回のみ)	投与開始時	○				
Rp:2 生食 50mL	プライミング& フラッシュ	○		○		○
Rp:3 パージェタ 初回 840mg/kg 2 回目以降 420mg/kg 生食 250mL	初回 60 分 2 回目以降 30 分	○				○
Rp:4 生食 50mL（フラッシュ用）	初回 30 分 2 回目以降 5 分	○				○
Rp:5 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8 mg/kg 2 回目以降 6 mg/kg 生食 250mL	初回 90 分 2 回目以降 30 分可	○				○
Rp:6 デキサート 6.6mg 生食 50m l	全開	○		○		○
Rp:7 ハラヴェン 1.4 mg/m <sup>2</sup> 生食 50mL	2~5 分	○		○		○
【備考・注意等】 DTX+T-mab+PER や T-DM1 が無効・副作用で中止とする症例が対象と考える						
【出典・文献等】 SABCS 2016 P5-15-11						

## 1.15 UFT+3wT-mab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H28.12.21

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																												
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 UFT+3wT-mab																												
<b>【薬品名・用法・用量】</b> テガフル・ウラシル 1回 200mg 1日2回 or 1回 100mg 1日3回 2年間 (adjuvant) トラスツズマブ 8mg/kg (初回) 6mg/kg (2回目以降) 3週毎を1サイクル 1年間 (adjuvant) (転移性乳癌の場合は期間に制限なし)																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">○○日目</th> <th style="width:15%;">投与時間</th> <th style="width:10%;">1</th> <th style="width:10%;">・・・</th> <th style="width:15%;">22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 ユーエフティ 1回 200mg or 1回 100mg</td> <td>1日2回 or 1日3回</td> <td style="text-align:center">○</td> <td style="text-align:center">○</td> <td style="text-align:center">○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 アセトアミノフェン錠 400mg(初回のみ)</td> <td>投与開始時</td> <td style="text-align:center">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml</td> <td>初回 90分 2回目以降 30分可</td> <td style="text-align:center">○</td> <td></td> <td style="text-align:center">○</td> </tr> <tr> <td>Rp:4 生理食塩水 50ml</td> <td>プライミング&amp; フラッシュ</td> <td style="text-align:center">○</td> <td></td> <td style="text-align:center">○</td> </tr> </tbody> </table>					○○日目	投与時間	1	・・・	22	Rp:1 ユーエフティ 1回 200mg or 1回 100mg	1日2回 or 1日3回	○	○	○	Rp:2 アセトアミノフェン錠 400mg(初回のみ)	投与開始時	○			Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分可	○		○	Rp:4 生理食塩水 50ml	プライミング& フラッシュ	○		○
○○日目	投与時間	1	・・・	22																									
Rp:1 ユーエフティ 1回 200mg or 1回 100mg	1日2回 or 1日3回	○	○	○																									
Rp:2 アセトアミノフェン錠 400mg(初回のみ)	投与開始時	○																											
Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分可	○		○																									
Rp:4 生理食塩水 50ml	プライミング& フラッシュ	○		○																									
<b>【予定併用薬剤】</b> アセトアミノフェン錠 400mg 事前内服																													
<b>【備考・注意等】</b> HER2 陽性乳癌の ajuvant としてはタキサン系と HER の併用がスタンダードだが、タキサン系を忌避する場合、高齢者などで適応となる																													
<b>【出典・文献等】</b> 有害事象の報告はなし																													

## 1.16 UFT 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H28.12.21

診療科：外科	医師氏名：本間 恵												
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 UFT												
<b>【薬品名・用法・用量】</b> テガフル・ウラシル 1回 200mg 1日 2回 or 1回 100mg 1日 3回 2年間（adjuvant） 体格・副作用により減量													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">〇〇日目</th> <th style="width: 15%;">投与時間</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 15%;">・・・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           テガフル・ウラシル 1回 200mg or            1回 100mg         </td> <td>           1日 2回 or            1日 3回         </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>				〇〇日目	投与時間	1	2	・・・	テガフル・ウラシル 1回 200mg or 1回 100mg	1日 2回 or 1日 3回	○	○	○
〇〇日目	投与時間	1	2	・・・									
テガフル・ウラシル 1回 200mg or 1回 100mg	1日 2回 or 1日 3回	○	○	○									
<b>【備考・注意等】</b> Luminal B タイプで化学療法による脱毛を忌避する場合、高齢者 病勢の落ち着いた転移性乳癌など													
<b>【出典・文献等】</b> Oncology 2003;64(2):146-53 J.Clin Oncol.2009;27(9):13 68-74 J.clin Oncol.2005;23(10):21 72-84 Br.J Cancer 2009;101(4):598-604													

## 1.17 wPTX+Bmab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H26.2.7

改訂日：H30.01.10

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																																																						
【対象疾患】 進行・再発乳癌	【レジメン名（略称）】 wPTX+Bmab																																																						
【薬品名・用法・用量】 1 サイクル 28 日																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>・・・</th> <th>8</th> <th>・・・</th> <th>15</th> <th>・・・</th> <th>29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 デキサート注 9.9mg ポララミン注 10mg ファモチジン静注 生食 50ml</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 パクリタキセル 90mg/m<sup>2</sup> 5%ブドウ糖 250ml</td> <td>Rp:1 終了 30 分後 開始 60 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生理食塩水 100ml</td> <td>フラッシュ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:4 アバスチン 10mg/kg 生食 100ml</td> <td>初回 90 分 2 回目 60 分 3 回目以降 30 分まで短縮可</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:5 生理食塩水 50ml</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	・・・	8	・・・	15	・・・	29	Rp:1 デキサート注 9.9mg ポララミン注 10mg ファモチジン静注 生食 50ml	15 分	○		○		○		○	Rp:2 パクリタキセル 90mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 250ml	Rp:1 終了 30 分後 開始 60 分	○		○		○		○	Rp:3 生理食塩水 100ml	フラッシュ	○		○		○		○	Rp:4 アバスチン 10mg/kg 生食 100ml	初回 90 分 2 回目 60 分 3 回目以降 30 分まで短縮可	○				○		○	Rp:5 生理食塩水 50ml	全開	○				○		○
〇〇日目	投与時間	1	・・・	8	・・・	15	・・・	29																																															
Rp:1 デキサート注 9.9mg ポララミン注 10mg ファモチジン静注 生食 50ml	15 分	○		○		○		○																																															
Rp:2 パクリタキセル 90mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 250ml	Rp:1 終了 30 分後 開始 60 分	○		○		○		○																																															
Rp:3 生理食塩水 100ml	フラッシュ	○		○		○		○																																															
Rp:4 アバスチン 10mg/kg 生食 100ml	初回 90 分 2 回目 60 分 3 回目以降 30 分まで短縮可	○				○		○																																															
Rp:5 生理食塩水 50ml	全開	○				○		○																																															
【併用薬剤】 デキサメタゾン、d-クロルフェニラミン、ファモチジン																																																							
【備考・注意等】 〔改訂項目〕 本間 Dr より依頼。グラネトロン不要の為、抹消とした。																																																							
【出典・文献等】 乳癌診療ガイドライン①治療編 2013 年版																																																							

## 1.18 Eribulin 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H29.1.23

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																																	
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 Eribulin 単独療法																																	
【薬品名・用法・用量】 3週間ごとを1サイクル PDまで (状態により Day1 のみに変更 または隔週投与も可)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>...</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50mL</td> <td>15分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 ハラヴェン 1.4mg/m<sup>2</sup></td> <td>2~5分間</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生食 50mL</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>							〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	22	Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50mL	15分	○		○		○	Rp:2 ハラヴェン 1.4mg/m <sup>2</sup>	2~5分間	○		○		○	Rp:3 生食 50mL	全開	○		○		○
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	22																												
Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50mL	15分	○		○		○																												
Rp:2 ハラヴェン 1.4mg/m <sup>2</sup>	2~5分間	○		○		○																												
Rp:3 生食 50mL	全開	○		○		○																												
【予定併用薬剤】 デキサメサゾン適宜																																		
【備考・注意】 転移性乳癌対象																																		
【出典・文献等】 Lancet 377:914-923,2011																																		

## 1.19 ATE+nabPTX 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日 2020.1.31

診療科：外科	医師氏名：本間 恵									
【対象疾患】 乳癌(PD-L1 陽性 or Triple negative)	【レジメン名 (略称)】 ATE+nabPTX									
【薬品名・用法・用量】 4 週間ごと										
〇〇日目	投与時間	1	-	8	-	15	-	22	-	28
Rp:1 生理食塩水 100ml	プライミング& フラッシュ用	○				○				
Rp:2 テセントリク 840 mg/body 生理食塩水 250ml	初回 60 分 2回目以降 30 分	○				○				
Rp:3 生理食塩水 250ml	90 分	○				○				
Rp:4 デキサート注 6.6 mg 生理食塩水 100ml	30 分(側管)	○		○		○				
Rp:5 生理食塩水 50ml	10 分(側管)	○		○		○				
Rp:6 アブラキサシ 100 mg/m <sup>2</sup>	30 分(側管)	○		○		○				
Rp:7 生理食塩水 50ml	フラッシュ用			○						
【予定併用薬】 上記										
【備考・注意等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>④～⑥は主管の側管から投与を行い、フィルター使用不可</li> <li>パクリタキセル(アルブミン懸濁型)(製品名アブラキサシ)は特定生物由来製剤の為、「血漿分画製剤の使用に関する同意書」を取得すること</li> <li>・ irAE ・ 末梢神経障害に注意</li> </ul>										
【出典・文献等】 Impassion130 試験										

1.20 EC 療法

癌化学療法登録レジメン

届出日：H24.7.18

診療科：内科	医師氏名：篠原 浩一								
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 EC 療法								
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル									
〇〇日目	投与時間	1	2	3	4	…	22	23	24
Rp:1 アプレピタント錠 125 mg p.o.	Rp:3 開始 1 時間前	○					○		
Rp:2 デキサート注 9.9mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	30 分	○					○		
Rp:3 エピルビシン 60~100mg/m <sup>2</sup> 生食 50ml	15 分	○					○		
Rp:4 エンドキサン 500mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 100ml	30 分	○					○		
Rp:5 5%ブドウ糖 100ml	フラッシュ用	○					○		
Rp:6 アプレピタント錠 80 mg			○	○				○	○
Rp:7 デカドロン錠 4 mg p.o. 1 日 2 回 1 回 1 錠	朝昼食後		○	○	○			○	○
Rp:8 レバミピド錠 100mg p.o. 1 日 3 回 1 回 1 錠	毎食後		○	○	○			○	○
【予定併用薬】									
【備考・注意等】									
【出典・文献等】									

## 2. 術前術後化学療法

### 2.1 AC 療法

#### 癌化学療法登録プロトコル

届出日：H18.7.14

診療科：外科	医師氏名：宇佐美 修悦						
【対象疾患】 乳癌	【プロトコル名（略称）】 AC 療法						
【薬品名・用法・用量】 21 日 1 サイクル、計 4 サイクル							
〇〇日目	投与時間	1	2	3	4	…	22
Rp:1 アプレピタントカプセル 125 mg	Rp3 開始 1 時間前	○					○
Rp:2 デキサート注 9.9 mg アロキシ点滴静注	15 分	○					○
Rp:3 アドリアシン 60mg/m <sup>2</sup> 生食 50mL	15 分	○					○
Rp:4 エンドキサン 600mg/m <sup>2</sup> 生食 100mL	30 分	○					○
Rp:5 生食 50mL	全開	○					○
Rp:6 アプレピタントカプセル 80 mg 内服			○	○			
Rp:7 デカドロン錠 4 mg 2 錠 2×	朝昼食後		○	○	○		
Rp:8 レバミピド錠 100 mg 3 錠 3×	毎食後		○	○	○		
【予定併用薬剤】 アロキシバッグ 0.75mg、デキサート 9.9 mg アプレピタントカプセル 125、80 mg、デカドロン 8 mg po							
【備考・注意等】 乳癌の術後補助化学療法のファーストラインとして。 化学療法未施行の再発乳がんのファーストラインとして。							
【出典・文献等】 臨床外科 59 巻 9 号 2004 年 9 月 P1145～1150							



## 2.2 FEC 療法

### 癌化学療法登録プロトコル

届出日：H26.3.26

診療科：外科	医師氏名：宇佐美 修悦						
【対象疾患】 乳癌	【プロトコル名（略称）】 FEC療法						
【薬品名・用法・用量】 21日で1サイクル、計6サイクル							
〇〇日目	投与時間	1	2	3	4	…	22
Rp:1 アプレピタントカプセル 125 mg エピルピシンの投与1時間前に内服	Rp3開始 1時間前	○					○
Rp:2 デキサート注9.9mg アロキシ点滴静注バッグ0.75mg	15分	○					○
Rp:3 エピルピシン60mg～100 mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	15分	○					○
Rp:4 エンドキサン500mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液100mL	30分	○					○
Rp:5 5-FU 500 mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	15分	○					○
Rp:6 生食50mL	全開	○					○
Rp:7 アプレピタントカプセル80mg 内服	朝食後		○	○			
Rp:8 デカドロン錠 4 mg 2錠 2×	朝昼食後		○	○	○		
Rp:9 レバミピド錠 100 mg 3錠	毎食後						
【予定併用薬剤】 アロキシバッグ0.75mg、デキサート9.9mgdiv アプレピタントカプセル125、80mg、デカドロン8mgpo							
【備考・注意等】							
【出典・文献等】 乳がん診療ガイドライン①治療編2013年版							

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 23/34
---------------	---------	---------------	------------

### 2.3 3週毎 T-mab+DTX 療法

#### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H22.11.17

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																																								
【対象疾患】 乳癌 術後補助化学療法 進行・再発乳癌	【レジメン名（略称）】 3週毎 T-mab+DTX																																								
【薬品名・用法・用量】 21日で1サイクル																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>22</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）</td> <td>投与開始前</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 デキサート注 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg</td> <td>15分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 ドセタキセル 60mg/kg 生食 250ml</td> <td>60分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2回目以降） 生食 250ml</td> <td>初回 90分 2回目以降 30分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:5 生食 50mL</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						〇〇日目	投与時間	1	...	22	...	Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始前	○				Rp:2 デキサート注 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○		Rp:3 ドセタキセル 60mg/kg 生食 250ml	60分	○		○		Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2回目以降） 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分	○		○		Rp:5 生食 50mL	全開	○		○	
〇〇日目	投与時間	1	...	22	...																																				
Rp:1 アセトアミノフェン 400 mg（初回のみ）	投与開始前	○																																							
Rp:2 デキサート注 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○																																					
Rp:3 ドセタキセル 60mg/kg 生食 250ml	60分	○		○																																					
Rp:4 トラスツズマブ BS 点滴静注 8 mg/kg（初回） 6 mg/kg（2回目以降） 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分	○		○																																					
Rp:5 生食 50mL	全開	○		○																																					
【予定併用薬剤】 グラニセトロン点滴静注バッグ3mg、デキサート注6.6mg、ポララミン注5mg 初回アセトアミノフェン2T内服																																									
【備考・注意等】																																									
【出典・文献等】																																									

## 2.4 3wT-mab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H.29.1.23

診療科：外科	医師氏名：本間 恵			
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 3wT-mab			
【薬品名・用法・用量】 3週間ごとを1サイクル				
〇〇日目	投与時間	1	…	22
Rp:1 アセトアミノフェン 400mg(初回のみ)	投与開始時	○		
Rp:2 生食 100mL	プライミング & フラッシュ			
Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分 可	○		○
【予定併用薬剤】 初回のみアセトアミノフェン 400mg 事前に内服				
【備考・注意等】 タキサン系との併用で開始、タキサン系が規定の adjuvant 量を終了した後、HER 単独で total 1年間(約 40回位)必要なため HER2 陽性乳癌で化学療法を忌避する場合、化学療法併用で病勢コントロールされメンテナンス目的に HER 単独で行う場合など				
【出典・文献等】 乳癌診療ガイドライン①治療編				

## 2.5 Weekly PTX 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H20.3.12

診療科：外科	医師氏名：後藤 伸之																												
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 weekly PTX																												
【薬品名・用法・用量】 7日で1サイクル																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>...</th> <th>15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>Rp:1</b> デキサート注 9.9 mg ファモチジン静注 20 mg ポララミン注 10 mg グラニセトン点滴静注バッグ 3 mg</td> <td>15分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td><b>Rp:2</b> パクリタキセル 80 mg/m<sup>2</sup> 5%ブドウ糖液 500ml</td> <td><b>Rp:1 終了</b> 30分後に開始 初回 120分以降 60分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td><b>Rp:3</b> 生理食塩水 50ml</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15	<b>Rp:1</b> デキサート注 9.9 mg ファモチジン静注 20 mg ポララミン注 10 mg グラニセトン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○		○	<b>Rp:2</b> パクリタキセル 80 mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液 500ml	<b>Rp:1 終了</b> 30分後に開始 初回 120分以降 60分	○		○		○	<b>Rp:3</b> 生理食塩水 50ml	全開	○		○		○
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15																							
<b>Rp:1</b> デキサート注 9.9 mg ファモチジン静注 20 mg ポララミン注 10 mg グラニセトン点滴静注バッグ 3 mg	15分	○		○		○																							
<b>Rp:2</b> パクリタキセル 80 mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液 500ml	<b>Rp:1 終了</b> 30分後に開始 初回 120分以降 60分	○		○		○																							
<b>Rp:3</b> 生理食塩水 50ml	全開	○		○		○																							
【併用薬剤】デキサメタゾン、ファモチジン、d-ケルフェラムシ、グラニセトン																													
【備考・注意等】																													
【出典・文献等】 化学療法レジメンの処方例																													

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 26/34
---------------	---------	---------------	------------

## 2.6 DTX 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H19.5.12

診療科：外科	医師氏名：																												
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 DTX 単独療法																												
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル 術後化学療法の場合は全 6 コース 進行・再発の場合は PD まで																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>22</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 デキサート 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:2 ドセタキセル 60or75mg/m<sup>2</sup> 生食 500ml</td> <td>Rp:1 終了 30 分後に開始 60 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生食 50mL</td> <td>全開</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						〇〇日目	投与時間	1	...	22	...	Rp:1 デキサート 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg	15 分	○		○		Rp:2 ドセタキセル 60or75mg/m <sup>2</sup> 生食 500ml	Rp:1 終了 30 分後に開始 60 分	○		○		Rp:3 生食 50mL	全開				
〇〇日目	投与時間	1	...	22	...																								
Rp:1 デキサート 6.6 mg ポララミン 5 mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg	15 分	○		○																									
Rp:2 ドセタキセル 60or75mg/m <sup>2</sup> 生食 500ml	Rp:1 終了 30 分後に開始 60 分	○		○																									
Rp:3 生食 50mL	全開																												
【併用薬剤】 デキサメタゾン、ファモチジン、ポララミン、グラニセトロン																													
【備考・注意等】 DTX は軽度催吐性リスクだが、グラニセトロン追加している																													
【出典・文献等】																													

## 2.7 UFT+3wT-mab 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H28.12.21

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																												
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 UFT+3wT-mab																												
<b>【薬品名・用法・用量】</b> テガフル・ウラシル 1回 200mg 1日2回 or 1回 100mg 1日3回 2年間 (adjuvant) トラスツズマブ 8mg/kg (初回) 6mg/kg (2回目以降) 3週毎を1サイクル 1年間 (adjuvant) (転移性乳癌の場合は期間に制限なし)																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">○○日目</th> <th style="width: 15%;">投与時間</th> <th style="width: 5%;">1</th> <th style="width: 10%;">・・・</th> <th style="width: 10%;">22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 ユーエフティ 1回 200mg or 1回 100mg</td> <td>1日2回 or 1日3回</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 アセトアミノフェン錠 400mg(初回のみ)</td> <td>投与開始時</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml</td> <td>初回 90分 2回目以降 30分可</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>Rp:4 生理食塩水 50ml</td> <td>プライミング&amp; フラッシュ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>					○○日目	投与時間	1	・・・	22	Rp:1 ユーエフティ 1回 200mg or 1回 100mg	1日2回 or 1日3回	○	○	○	Rp:2 アセトアミノフェン錠 400mg(初回のみ)	投与開始時	○			Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分可	○		○	Rp:4 生理食塩水 50ml	プライミング& フラッシュ	○		○
○○日目	投与時間	1	・・・	22																									
Rp:1 ユーエフティ 1回 200mg or 1回 100mg	1日2回 or 1日3回	○	○	○																									
Rp:2 アセトアミノフェン錠 400mg(初回のみ)	投与開始時	○																											
Rp:3 トラスツズマブ BS 点滴静注 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 生食 250ml	初回 90分 2回目以降 30分可	○		○																									
Rp:4 生理食塩水 50ml	プライミング& フラッシュ	○		○																									
<b>【予定併用薬剤】</b> アセトアミノフェン錠 400mg 事前内服																													
<b>【備考・注意等】</b> HER2 陽性乳癌の ajuvant としてはタキサン系と HER の併用がスタンダードだが、タキサン系を忌避する場合、高齢者などで適応となる																													
<b>【出典・文献等】</b> 有害事象の報告はなし																													

## 2.8 UFT 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H28.12.21

診療科：外科	医師氏名：本間 恵												
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 UFT												
<b>【薬品名・用法・用量】</b> テガフル・ウラシル 1回 200mg 1日 2回 or 1回 100mg 1日 3回 2年間（adjuvant） 体格・副作用により減量													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">〇〇日目</th> <th style="width: 15%;">投与時間</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 15%;">・・・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           テガフル・ウラシル 1回 200mg or            1回 100mg         </td> <td>           1日 2回 or            1日 3回         </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>				〇〇日目	投与時間	1	2	・・・	テガフル・ウラシル 1回 200mg or 1回 100mg	1日 2回 or 1日 3回	○	○	○
〇〇日目	投与時間	1	2	・・・									
テガフル・ウラシル 1回 200mg or 1回 100mg	1日 2回 or 1日 3回	○	○	○									
<b>【備考・注意等】</b> Luminal B タイプで化学療法による脱毛を忌避する場合、高齢者 病勢の落ち着いた転移性乳癌など													
<b>【出典・文献等】</b> Oncology 2003;64(2):146-53 J.Clin Oncol.2009;27(9):13 68-74 J.clin Oncol.2005;23(10):21 72-84 Br.J Cancer 2009;101(4):598-604													

## 2.9 Eribulin 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H29.1.23

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																																	
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 Eribulin 単独療法																																	
<b>【薬品名・用法・用量】</b> 3週間ごとを1サイクル PDまで (状態により Day1 のみに変更 または隔週投与も可)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>...</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50mL</td> <td>15分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 ハラヴェン 1.4mg/m<sup>2</sup></td> <td>2~5分間</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:3 生食 50mL</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>							〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	22	Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50mL	15分	○		○		○	Rp:2 ハラヴェン 1.4mg/m <sup>2</sup>	2~5分間	○		○		○	Rp:3 生食 50mL	全開	○		○		○
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	22																												
Rp:1 デキサート注 6.6mg 生食 50mL	15分	○		○		○																												
Rp:2 ハラヴェン 1.4mg/m <sup>2</sup>	2~5分間	○		○		○																												
Rp:3 生食 50mL	全開	○		○		○																												
<b>【予定併用薬剤】</b> デキサメサゾン適宜																																		
<b>【備考・注意】</b> 転移性乳癌対象																																		
<b>【出典・文献等】</b> Lancet 377:914-923,2011																																		



## 2.10 EC 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：H24.7.18

診療科：内科	医師氏名：篠原 浩一								
【対象疾患】 乳癌	【レジメン名（略称）】 EC 療法								
【薬品名・用法・用量】 21 日で 1 サイクル									
〇〇日目	投与時間	1	2	3	4	…	22	23	24
Rp:1 アプレピタント錠 125 mg p.o.	Rp:3 開始 1 時間前	○					○		
Rp:2 デキサート注 9.9mg グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg	30 分	○					○		
Rp:3 エピルビシン 60~100mg/m <sup>2</sup> 生食 50ml	15 分	○					○		
Rp:4 エンドキサン 500mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 100ml	30 分	○					○		
Rp:5 5%ブドウ糖 100ml	フラッシュ用	○					○		
Rp:6 アプレピタント錠 80 mg			○	○				○	○
Rp:7 デカドロン錠 4 mg p.o. 1 日 2 回 1 回 1 錠	朝昼食後		○	○	○			○	○
Rp:8 レバミピド錠 100mg p.o. 1 日 3 回 1 回 1 錠	毎食後		○	○	○			○	○
【予定併用薬】									
【備考・注意等】									
【出典・文献等】									

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 31/34
---------------	---------	---------------	------------

## 2.11 Pembrolizumab+AC 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：2023.1.6

診療科：外科	申請医師： 本間 恵																																			
【対象疾患】 周術期 TNBC 乳癌（術前）	【レジメン名（略称）】 Pembrolizumab+AC 療法																																			
<b>【【薬品名・用法・用量】】</b> A ペムブロリズマブ 200mg/Body Day.1 B シクロホスファミド 600mg/m <sup>2</sup> Day1 C ドキソビリン 60mg/m <sup>2</sup> Day1 <span style="float: right;">3 週毎 4 コースまで</span>																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>…</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①生理食塩水 100ml</td> <td>プライミング &amp; フラッシュ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②ペムブロリズマブ 200mg/Body + 生理食塩水 100ml</td> <td>30 分</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③デキサメタゾン 9.9 mg 注 + パロセトロン 0.75mg バック</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④アドリアン注 60mg/m<sup>2</sup> + 生理食塩液 50ml</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③エトキシカン注 600mg/m<sup>2</sup> + 生理食塩液 100ml</td> <td>30 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑦生理食塩水 50ml</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	…	22	①生理食塩水 100ml	プライミング & フラッシュ	○		○	②ペムブロリズマブ 200mg/Body + 生理食塩水 100ml	30 分	○			③デキサメタゾン 9.9 mg 注 + パロセトロン 0.75mg バック	15 分	○		○	④アドリアン注 60mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 50ml	15 分	○		○	③エトキシカン注 600mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 100ml	30 分	○		○	⑦生理食塩水 50ml	全開	○		○
〇〇日目	投与時間	1	…	22																																
①生理食塩水 100ml	プライミング & フラッシュ	○		○																																
②ペムブロリズマブ 200mg/Body + 生理食塩水 100ml	30 分	○																																		
③デキサメタゾン 9.9 mg 注 + パロセトロン 0.75mg バック	15 分	○		○																																
④アドリアン注 60mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 50ml	15 分	○		○																																
③エトキシカン注 600mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 100ml	30 分	○		○																																
⑦生理食塩水 50ml	全開	○		○																																
Day1 アドリアン投与 1 時間前にアプレタント 120 mg 1T P.O Day2~4 アプレタント 80 mg 1T1×朝 ジーラスタ皮下注 3.6 mg S.C																																				
<b>【予定併用薬】</b> 吐き気時頓用ドンペリドン 10 mg 1T/回 Steroid sparing (ICI 効果減弱を避けるため) CINV 強い時のオプション：オランザピン 5 mg 1T1×M (day1-5)																																				
<b>【備考・注意等】</b> Pembrolizumab 投与時インラインフィルター使用。 出血性膀胱炎、発熱性好中球減少症、irAE などに注意。																																				
<b>【出典・文献等】</b> KEYNOTE-522 試験 適正使用のポイント																																				

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 32/34
---------------	---------	---------------	------------

## 2.12 Pembrolizumab+CBDCA+PTX 療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：2023.1.6

診療科：外科	申請医師： 本間 恵																																																	
【対象疾患】 周術期 TNBC 乳癌（術前）	【レジメン名（略称）】 Pembrolizumab+CBDCA+PTX																																																	
<b>【【薬品名・用法・用量】】</b> A ペムブロリズマブ 200mg/Body (day.1) B パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup> (day.1、8、15) C カルボプラチン AUC 1.5 (day.1、8、15) <span style="float: right;">3 週毎 4 コースまで</span>																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>8</th> <th>...</th> <th>15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①生理食塩水 100ml</td> <td>プライミング &amp; フラッシュ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②ペムブロリズマブ 200mg/Body + 生理食塩水 100ml</td> <td>30 分</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③デキサメタゾン 9.9 mg 注 + ファモチジン注 20 mg + d-クロルフェニラミン 10 mg + パロセトロン 0.75mg ハック</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑤パクリタキセル 80mg/m<sup>2</sup> + 生理食塩水 500ml</td> <td>③終了 30 分後 60 分で</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑥カルボプラチン AUC1.5+5%ブドウ糖液 500ml</td> <td>60 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑦生理食塩水 50ml</td> <td>全開</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15	①生理食塩水 100ml	プライミング & フラッシュ	○		○		○	②ペムブロリズマブ 200mg/Body + 生理食塩水 100ml	30 分	○					③デキサメタゾン 9.9 mg 注 + ファモチジン注 20 mg + d-クロルフェニラミン 10 mg + パロセトロン 0.75mg ハック	15 分	○		○		○	⑤パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩水 500ml	③終了 30 分後 60 分で	○		○		○	⑥カルボプラチン AUC1.5+5%ブドウ糖液 500ml	60 分	○		○		○	⑦生理食塩水 50ml	全開	○		○		○
〇〇日目	投与時間	1	...	8	...	15																																												
①生理食塩水 100ml	プライミング & フラッシュ	○		○		○																																												
②ペムブロリズマブ 200mg/Body + 生理食塩水 100ml	30 分	○																																																
③デキサメタゾン 9.9 mg 注 + ファモチジン注 20 mg + d-クロルフェニラミン 10 mg + パロセトロン 0.75mg ハック	15 分	○		○		○																																												
⑤パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩水 500ml	③終了 30 分後 60 分で	○		○		○																																												
⑥カルボプラチン AUC1.5+5%ブドウ糖液 500ml	60 分	○		○		○																																												
⑦生理食塩水 50ml	全開	○		○		○																																												
<b>【予定併用薬】</b> 吐き気時頓用ドンパリドン 10 mg 1T/回 Steroid sparing (ICI 効果減弱を避けるため) CINV 強い場合のオプションとして ①アプレピタント 120 mg (day1) + アプレピタント 80 mg 1T1×M (day2-3) ②オンザピン 5 mg 1T1×M (day1-5)																																																		
<b>【備考・注意等】</b> Pembrolizumab、CBDCA、PTX 投与時インラインフィルター使用。 CBDCA 投与量は Calvert 式：投与量mg = 目標 AUC × (GFR+25) GFR は Cockcroft-Gault 式：GFR = 【(140-年齢) × 体重kg】 / (72 × Scr) × 女性は 0.85 ※Scr の最低値 0.7 mg/dL、eGFR の最大値 125mL/分 末梢神経障害、アファイキシー、irAE などに注意。																																																		
<b>【出典・文献等】</b> KEYNOTE-522 試験 適正使用のポイント																																																		

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 33/34
---------------	---------	---------------	------------

## 2.13 Pembrolizumab 単独療法

### 癌化学療法登録レジメン

届出日：2023.1.6

診療科：外科	申請医師： 本間 恵																		
【対象疾患】 周術期 TNBC 乳癌（術後）	【レジメン名（略称）】 Pembrolizumab 単独療法																		
【薬品名・用法・用量】 1. ペムブロリズマブ 200 mg/Body 3 週間毎 9 コース																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>…</th> <th>22</th> <th>…</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生理食塩液 100ml</td> <td>プライミング &amp; フラッシュ</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ペムブロリズマブ 200mg/Body+生理食塩液 100ml</td> <td>30 分</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	…	22	…	生理食塩液 100ml	プライミング & フラッシュ	○	—	○	—	ペムブロリズマブ 200mg/Body+生理食塩液 100ml	30 分	○	—	○	—
〇〇日目	投与時間	1	…	22	…														
生理食塩液 100ml	プライミング & フラッシュ	○	—	○	—														
ペムブロリズマブ 200mg/Body+生理食塩液 100ml	30 分	○	—	○	—														
2. ペムブロリズマブ 400 mg/Body 6 週間毎 5 コース																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>…</th> <th>43</th> <th>…</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生理食塩液 100ml</td> <td>プライミング &amp; フラッシュ</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ペムブロリズマブ 400mg/Body +生理食塩液 100ml</td> <td>30 分</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		〇〇日目	投与時間	1	…	43	…	生理食塩液 100ml	プライミング & フラッシュ	○	—	○	—	ペムブロリズマブ 400mg/Body +生理食塩液 100ml	30 分	○	—	○	—
〇〇日目	投与時間	1	…	43	…														
生理食塩液 100ml	プライミング & フラッシュ	○	—	○	—														
ペムブロリズマブ 400mg/Body +生理食塩液 100ml	30 分	○	—	○	—														
【予定併用薬】																			
【備考・注意等】 術前に Pembrolizumab+CBDCA+PTX&Pembrolizumab+AC を行うことが前提。 irAE などに注意。 Pembrolizumab 投与時インラインフィルター使用。																			
【出典・文献等】 KEYNOTE-522 試験 適正使用のポイント																			

抗がん剤レジメン集（乳腺）	第 1.0 版	文書番号 薬剤-03	頁 34/34
---------------	---------	---------------	------------

## 2.14 TC 療法

### 癌化学療法登録プロトコル

届出日:2022.8.5

診療科：外科	医師氏名：本間 恵																												
【対象疾患】 乳癌	【プロトコル名（略称）】 TC 療法																												
【薬品名・用法・用量】 21 日 1 サイクル、計 4~6 サイクル																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〇〇日目</th> <th>投与時間</th> <th>1</th> <th>...</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Rp:1 生理食塩液 100ml</td> <td>プライミング&amp; フラッシュ用</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:2 デキサート注 6.6 mg グレセトロン点滴静注</td> <td>15 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:3 トセタキセル 75mg/m<sup>2</sup> 生理食塩液 250mL</td> <td>60 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Rp:4 エンドキサン 600mg/m<sup>2</sup> 生理食塩液 100mL</td> <td>30 分</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					〇〇日目	投与時間	1	...	22	Rp:1 生理食塩液 100ml	プライミング& フラッシュ用	○		○	Rp:2 デキサート注 6.6 mg グレセトロン点滴静注	15 分	○		○	Rp:3 トセタキセル 75mg/m <sup>2</sup> 生理食塩液 250mL	60 分	○		○	Rp:4 エンドキサン 600mg/m <sup>2</sup> 生理食塩液 100mL	30 分	○		○
〇〇日目	投与時間	1	...	22																									
Rp:1 生理食塩液 100ml	プライミング& フラッシュ用	○		○																									
Rp:2 デキサート注 6.6 mg グレセトロン点滴静注	15 分	○		○																									
Rp:3 トセタキセル 75mg/m <sup>2</sup> 生理食塩液 250mL	60 分	○		○																									
Rp:4 エンドキサン 600mg/m <sup>2</sup> 生理食塩液 100mL	30 分	○		○																									
【予定併用薬剤】 グレセトロンバッグ 3mg、デキサート 6.6 mg day1 デカドロン 8 mg po day2~3																													
【備考・注意等】																													
【出典・文献等】 乳がん治療ガイドライン 2022 年度版治療編																													